

# 栗東市地方創生懇談会議事要約

平成 30 年 11 月 27 日（水）午後 4 時 00 分～  
栗東市危機管理センター 3 階 大研修室

## 【出席者】

委員：新川委員、清水憲委員、山口委員、小南委員、平田委員、清水久委員、鷹羽委員、  
内記委員、武村委員

事務局：副市長、市民政策部長、市民政策部政策監、総務部長、  
福祉部長、子ども・健康部長、環境経済部長、建設部長、建設部技監、  
教育部長、議会事務局長、元気創造政策課事務局担当

## 1. 開会

## 2. 委員の委嘱について

（省略）

## 3. 会長・会長代理の選任について

（省略）

会長：新川委員、会長代理：清水憲委員

## 4. 協議事項

（1）傍聴に関する取扱いについて

（省略）

## 5. 審議事項

（1）平成 30 年度 地方創生関連事業の進捗状況について

### 《資料説明（事務局）》

（省略）

### 《質疑応答》

#### 委員

---

平成 28 年 3 月に総合戦略が策定されてから一定期間経過しているが、策定時に定め  
た KPI の進捗状況を教えていただきたい。

#### 事務局

---

平成 31 年度を目標に KPI を設定しているが、例えば、観光入客数については当初  
より増加しており、合計特殊出生率については目標通り概ね現状維持がなされている。

その他、各事業の詳細な数字は年度途中でありお示しできないが、第 2 回地方創生懇談会開催時には、計画期間内の途中経過になるがお示しさせていただく。

## 委員

---

観光事業の推進に関して、宿泊ホテルを誘致すればさらなる観光推進につながるのではないかと。例えば、観光シーズンには観光名所である京都のホテルが確保困難になることから、比較的近い栗東市に宿泊していただける可能性もあり、また飲食店への経済波及効果も見込まれる。

## 環境経済部長

---

観光の面だけではなく、中小企業の振興にもつながることなので今後検討していく。

## 委員

---

地方創生関連事業のうち、環境経済部所管の事業が多いが、職員体制は充実されているのか。

また、空家等対策事業やりっとう創業塾実施事業等を進めていくにあたり、横の連携はされているのか。例えば、空家・空き店舗を利用した創業には、固定資産税の一定の控除を行うなどすれば、空家等の解消に繋がるとともに市内での創業にもつながるものであり、連携することでの相乗効果が生まれる。各部署でそれぞれ考え方があると思われるが、どのような手法をとればどのような効果をもたらされるのかということに着目しながら事業の推進をお願いします。

## 環境経済部長

---

空き店舗等活用促進事業では、8月に空き店舗等活用促進事業補助金制度の利用募集を行ったが、申請件数は0件であった。そこで、条件緩和等の要綱の見直しを行い、2次募集を行っているところである。今後、さらにこういったものが効果的であるのかということについては、税控除は難しいかもしれないが、検討していきたい。

## 会長

---

単体事業として進めても効果が低いものもあると思われるが、様々な事業との関連性の可能性を探っていただき、しっかりと検討をしていただきたい。

## 委員

---

こんぜめぐりちゃんバス事業について、費用対効果が出ていないと思われるが、地方創生につながっているのか疑問である。効果が出ていない事業については見直しを進めていくべきではないか。

市内ホテルの誘致に関連して、2020年3月に全330室という規模でホテルルートインが市内に立地される予定であるが、ご存知であったか。

## 環境経済部長

---

こんぜめぐりちゃんバス事業については、天候等に左右されることもあり、年間の利用者数にばらつきがでてしまう。費用対効果については、今後十分に検討してまいりたい。

ホテルの開発については存じていたが、詳細な情報は把握していなかった。今後、そういった情報も含めて情報収集に努めたい。

## 会長

---

本日出された意見や指摘を踏まえた上で各事業を押し進めていただくとともに、次年度に向けた準備をお願いする。

## 6. その他

### 《説明（事務局）》

本日出し切れなかった意見については、12月7日を目処に別添ご意見シートにより提出をお願いしたい。

## 7. 閉会(副市長あいさつ)

(省略)

以上